

委員会行政調査報告書

令和6年11月13日

尾張旭市議会議長 殿

総務委員長

山下 幹 雄

本委員会は所管事務調査のため下記のとおり行政調査を行いましたので、報告します。

期日等	期 日	調 査 先
		令和6年10月31日
参加者	計 <u>7</u> 名	
	山下幹雄、いとう伸一、秋田さとし、芦原美佳子、大島もえ、 谷口武司、松原たかし	
調査項目及び内容	移動設置型トイレ「トイレトレーラー」の導入について	
	・ 早期（平成31年1月）に導入推進をされた経緯（議論等）について	
	・ これまでの活用実績（災害時、被災地への派遣等）について	
	・ 導入費用（補助金等の活用も併せて）について	
	・ 維持費用について	
	・ 今後の活用展開構想について	
	・ 導入後に課題と感じたことについて	
	・ 台数を増やす計画の有無について	
	・ 導入後、何年使用する計画であるのかについて	
その他	・ 使用していないときの保管場所について (行政調査の成果等は別紙にて報告)	
	参考資料は別添のとおり	

## 総務委員会行政調査報告書

10月31日に刈谷市を訪問し、行政調査を行いました。

### 【主な質疑応答】

- 早期（平成31年1月）に導入推進をされた経緯（議論等）について  
市長のトップダウン
- これまでの活用実績（災害時、被災地への派遣等）について  
千葉県、石川県の災害時対応
- 導入費用（補助金等の活用も併せて）について  
クラウドファンディングで寄付を集めた他市費  
寄付：約568万円  
市費：約740万円
- 維持費用について  
年間予算 76.3万円（けん引免許取得関係費：39万円含む）
- 今後の活用展開構想について  
平時の運用等を模索している。
- 導入後に課題と感じたこと  
牽引車両の能力と実質運行者。トレーラーの重量に見合う馬力が必要。運転は運行費用上職員で対応しており、免許の所持者確保も課題となる。
- 台数を増やす計画の有無について  
当面考えていない。
- 導入後、何年使用する計画であるのか  
出来る限り永く使いたいが、車検があり一般車両と同じ程度と考える。
- 使用していないときの保管場所について  
総合防災倉庫エリアに停留している。臭気の課題があり周辺環境に配慮している。

昨今、最新の装備車両他、多くの可動式トイレが研究開発されている。牽引に拘らず検討すべきとのアドバイスがあった。また、委員からは「災害時におけるトイレの重要性は高く認識され始めている。国、県等が率先して配備すべきではないか。」との意見も出た。

各種、先進導入の刈谷市が持つ経験値は、本市の導入検討に向けての参考に

出来たと考える。



刈谷市にて